Brush up Program for professional

弘前大学大学院保健学研究科保健学専攻（博士前期課程）

放射線看護高度看護実践コース

【プログラムの概要】

本プログラムは、放射線被ばくや放射線防護に関する高度な専門知識・技術を基盤とし、施設や地域における個人や集団の放射線被ばく防護対策に従事すると共に、放射線被ばくに関連した複雑な健康問題を持つ個人、家族および集団に対して高度看護実践を行うことのできる看護師を育成することを目的としています。

本プログラムでは、放射線看護の高度看護実践者として、「被ばく医療における看護」と「医用放射線利用に伴う看護」の２つの領域のうち、いずれかを選択して学習していただきます。被ばく医療にご関心がある方、勤務施設の被ばく医療体制の整備等に携わっている方、放射線診療を受ける患者様やご家族の看護、放射線被ばく防護に関して専門的な学びを深めたい方を対象にしています。また、教育課程編成にあたっては、関係医療機関からご意見を頂き、医療現場の要請に応える教育内容となるよう見直しを図っています。

本プログラムでは、社会人が学びやすいように、講義は平日の夜間と土曜日、集中講義で開講しています。また、多くの科目は、インターネットを活用した遠隔授業が可能で、来学しなくても自宅や職場からリアルタイムで講義を受講することができます。一部の講義ではｅラーニングを取り入れており、ご自身の都合に応じて受講することも可能となっております。また、長期履修制度を活用することで、最大４年間の履修期間で学ぶことが出来ます。

本プログラム修了者には、「放射線看護高度実践看護師」の学内称号を付与します。

※　本プログラムは、日本看護系大学協議会の高度実践看護師の放射線看護専攻教育課程（専門看護師教育課程）に認定されました。（平成 29 年 2 月）

※　本プログラムは、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムとして、文部科学省が定める「職業実践力育成プログラム（BP)」に認定されました。（平成 29 年 12 月 26 日）

文部科学省認定結果 URL：http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/1399935.htm